



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年10月31日

上場会社名 株式会社 アサックス
コード番号 8772 URL <https://www.asax.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 草間 雄介
問合せ先責任者 (役職名) 総務統括部長 (氏名) 松本 洪輔
四半期報告書提出予定日 2023年11月6日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3445-0404

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,271	5.1	2,252	0.7	2,510	12.2	1,635	12.6
2023年3月期第2四半期	3,113	12.4	2,237	17.3	2,237	17.2	1,451	15.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	49.58	
2023年3月期第2四半期	44.02	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	104,302	44,673	42.8
2023年3月期	101,192	43,631	43.1

(参考)自己資本 2024年3月期第2四半期 44,673百万円 2023年3月期 43,631百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		18.00	18.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				18.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,671	7.9	4,607	7.3	4,607	7.2	2,992	6.9	90.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	32,980,500 株	2023年3月期	32,980,500 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	4,500 株	2023年3月期	4,500 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	32,976,000 株	2023年3月期2Q	32,976,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の回復等により、緩やかな回復基調で推移したものの、世界的な金融引締め等を背景とした海外景気の後退や、中国経済の先行き懸念、原材料・資源価格の高騰及び為替変動等に起因した物価上昇の進行等が国内景気の下振れリスクとなり、先行き不透明な状況が続いております。

不動産金融市場においては、都心近郊における住宅地・商業地の地価水準は堅調に推移しているものの、先行きについては前述のリスクに加え、金融政策の転換等が不動産の流動性や価格に与える影響を注視していく必要があります。

このような環境の下、当社においては、従来通り「債権の健全性」を重視して債権内容の維持に努めつつも、積極的な顧客開拓を行ってまいりました。

その結果、当第2四半期末における営業貸付金残高は、前事業年度末の88,641,883千円から3,713,341千円(4.2%)増加の92,355,225千円となりました。

当第2四半期累計期間における経営成績は以下の通りです。

営業貸付金利息は、期中平均貸付金残高が前年同四半期比13.3%の増加となったこと等が主因となり、前年同四半期比74,266千円(3.2%)の増加となりました。

その他の営業収益は、不動産賃貸収入が増加となったこと等が主因となり、前年同四半期比84,221千円(10.4%)の増加となりました。

以上により、当第2四半期累計期間における営業収益は、前年同四半期比158,488千円(5.1%)の増加となりました。

金融費用は、期中平均借入金残高が前年同四半期比36.1%の増加となったこと等による支払利息の増加等により、前年同四半期比65,957千円(41.2%)の増加となりました。

売上原価は、不動産賃貸原価の計上により、前年同四半期比66,241千円の増加となりました。

その他の営業費用は、前年同四半期比11,240千円(1.6%)の増加となりました。

以上により、当第2四半期累計期間における営業費用は、前年同四半期比143,439千円(16.4%)の増加となりました。

営業外収益は、円安の進行に伴う外貨建て債券に係る為替差益及びデリバティブ評価益の計上等があり、前年同四半期比253,583千円の増加となりました。

営業外費用は、当第2四半期累計期間において計上するものはなく、前年同四半期比3,459千円の減少となりました。

特別損益において利益に大きな影響を与えるものはなく、法人税等合計は、前年同四半期比93,516千円(11.9%)の増加となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における業績は、営業収益は3,271,534千円(前年同四半期比5.1%増)、営業費用は1,018,570千円(同16.4%増)となり、営業利益は2,252,963千円(同0.7%増)、経常利益は2,510,018千円(同12.2%増)、四半期純利益は1,635,071千円(同12.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

流動資産

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末の96,477,622千円から1,899,321千円(2.0%)増加の98,376,944千円となりました。これは主として、現金及び預金が1,016,534千円(16.0%)の減少及びその他に含まれる関係会社貸付金が減少となったものの、営業貸付金が3,713,341千円(4.2%)の増加となったこと等によるものです。

固定資産

当第2四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末の4,715,084千円から1,210,632千円(25.7%)増加の5,925,716千円となりました。これは主として、投資その他の資産のその他に含まれる満期保有目的債券が増加となったこと等によるものです。

② 負債の部

流動負債

当第2四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末の15,514,786千円から1,374,395千円(8.9%)増加の16,889,181千円となりました。これは主として、1年以内返済予定の長期借入金が1,069,988千円(7.4%)の増加及び短期借入金が300,000千円の増加となったこと等によるものです。

固定負債

当第2四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末の42,046,338千円から694,054千円(1.7%)増加の42,740,392千円となりました。これは主として、長期借入金が697,906千円(1.7%)の増加となったこと等によるものです。

③ 純資産の部

配当金の支払い593,568千円があった一方、四半期純利益を1,635,071千円計上したことにより利益剰余金が増加となり、当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末の43,631,582千円から1,041,503千円(2.4%)増加の44,673,086千円となりました。なお、自己資本比率は42.8%(前事業年度末は43.1%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年4月28日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,345,119	5,328,585
営業貸付金	88,641,883	92,355,225
販売用不動産	38,316	43,253
前払費用	46,958	37,952
その他	1,503,343	714,126
貸倒引当金	△98,000	△102,200
流動資産合計	96,477,622	98,376,944
固定資産		
有形固定資産	3,943,543	3,935,757
無形固定資産	27,501	31,670
投資その他の資産		
その他	744,039	1,958,288
投資その他の資産合計	744,039	1,958,288
固定資産合計	4,715,084	5,925,716
資産合計	101,192,706	104,302,660
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	300,000
1年以内返済予定の長期借入金	14,416,364	15,486,352
未払金	85,946	71,670
未払費用	40,935	42,512
未払法人税等	903,818	884,767
預り金	17,456	23,478
前受収益	21,208	20,410
賞与引当金	27,465	32,673
その他	1,592	27,316
流動負債合計	15,514,786	16,889,181
固定負債		
長期借入金	40,664,192	41,362,098
退職給付引当金	107,100	108,500
役員退職慰労引当金	1,071,100	1,085,919
その他	203,946	183,875
固定負債合計	42,046,338	42,740,392
負債合計	57,561,124	59,629,574
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,307,848	2,307,848
利益剰余金	41,324,984	42,366,488
自己株式	△1,250	△1,250
株主資本合計	43,631,582	44,673,086
純資産合計	43,631,582	44,673,086
負債純資産合計	101,192,706	104,302,660

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業収益		
営業貸付金利息	2,303,937	2,378,204
その他の営業収益	809,108	893,330
営業収益合計	3,113,046	3,271,534
営業費用		
金融費用	160,059	226,016
売上原価	—	66,241
その他の営業費用	715,071	726,312
営業費用合計	875,130	1,018,570
営業利益	2,237,915	2,252,963
営業外収益		
受取利息	14	25
関係会社貸付金利息	2,830	451
受取手数料	290	—
雑収入	337	603
有価証券利息	—	10,435
為替差益	—	153,763
デリバティブ評価益	—	91,776
営業外収益合計	3,471	257,054
営業外費用		
固定資産除却損	3,459	—
営業外費用合計	3,459	—
経常利益	2,237,927	2,510,018
特別利益		
固定資産売却益	29	4,742
特別利益合計	29	4,742
税引前四半期純利益	2,237,957	2,514,761
法人税、住民税及び事業税	803,066	846,612
法人税等調整額	△16,893	33,077
法人税等合計	786,172	879,689
四半期純利益	1,451,784	1,635,071

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2,237,957	2,514,761
減価償却費	9,042	38,324
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,200	4,200
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,320	5,208
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,900	1,400
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	12,412	14,819
固定資産売却損益 (△は益)	△29	△4,742
固定資産除却損	3,459	—
デリバティブ評価損益 (△は益)	—	△91,776
有価証券利息	—	△10,435
受取利息	△2,844	△476
為替差損益 (△は益)	—	△153,755
営業貸付金の増減額 (△は増加)	△5,430,419	△3,713,341
販売用不動産の増減額 (△は増加)	△15,358	△4,937
賃貸資産の増減額 (△は増加)	—	△6,570
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△13,297	38,240
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	57,953
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△28,950	△34,029
その他の資産の増減額 (△は増加)	△539,957	△95,893
その他の負債の増減額 (△は減少)	46,621	△42,246
小計	△3,707,944	△1,483,298
利息の受取額	2,844	476
法人税等の支払額	△563,997	△831,634
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,269,097	△2,314,455
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△146,220
有形固定資産の売却による収入	30	4,742
有形固定資産の取得による支出	△1,058	△21,456
無形固定資産の取得による支出	—	△6,680
敷金の回収による収入	6,034	—
敷金の差入による支出	—	△104
関係会社貸付金の純増減額 (△は増加)	10,000	840,000
有価証券の取得による支出	—	△1,086,493
関係会社株式の取得による支出	—	△14,499
その他	—	77,830
投資活動によるキャッシュ・フロー	15,005	△352,881
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	300,000
長期借入れによる収入	10,600,000	9,250,000
長期借入金返済による支出	△6,993,984	△7,482,106
配当金の支払額	△591,782	△591,381
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,014,233	1,476,512
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	24,711
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,239,859	△1,166,114
現金及び現金同等物の期首残高	3,632,569	6,345,119
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,392,710	5,179,005

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。